

卸売市場をめぐる国の動向について

国では現在、第10次卸売市場整備基本方針の策定、公表に向けて「卸売市場流通の再構築に関する検討会」において、現状を踏まえた課題を元に卸売市場流通の将来方向について議論を行っている。今後は、平成27年10月に第10次卸売市場整備基本方針の策定、公表さらに、平成28年3月の中央卸売市場整備計画を策定、公表が見込まれる。

食品流通を取り巻く環境

人口構造は高齢者の増加、世帯構造は単独世帯の増加

国内農業、漁業の生産構造は従事者の高齢化の進行、生産量等の減少

食品小売業の動向は食料品専門店・中心店の販売額及び事業所数の減少

消費者の生鮮食品を選択する際の基準は1位が新鮮さ、2位が安全性、3位が価格

地産地消の取組が進み、生産者が農林水産物を消費者に直接販売する直売所の設置数と販売額は増加

国民の9割以上は、大量消費、大量廃棄型の生活様式を改めることが重要と考えるなど、環境問題に対する意識が高まっている

輸出促進及び6次産業化について、政府が目標を設定し取組を推進

卸売市場流通の現状

市場経由率は花きを除いて低下傾向

卸売市場の取扱金額は減少傾向

大都市市場であっても他市場からの集荷の割合は微増

卸売業者、仲卸業者の経営状況は厳しく、食肉以外は業者数は減少傾向

第9次卸売市場整備基本方針に基づく取組状況を踏まえた卸売市場をめぐる現状

市場の位置付け、役割、機能強化の方向、市場施設の整備、市場運営のあり方を明確にした経営戦略の確立が十分でない

産地の大型化を背景に、取扱数量の大きな卸売市場に荷が集中し、中小規模の卸売市場では取扱数量が一層減少する中、効率的なネットワークの形成が求められていたが、立地、機能に応じた市場間での役割分担と連携強化が進んでいない

- ・少子高齢化を伴う人口減少が進む中、地方卸売市場の集荷力維持・強化は大きな課題となっている
- ・地方卸売市場においては、集荷力の強化を図る地域の拠点としての地域拠点市場と他の地方卸売市場との統合が進んでいない

品質管理の高度化、付加機能・品揃えの充実など消費者、実需者生産者等の多様化するニーズへの対応が十分でない

輸出や6次産業化などの新たな取組による市場の活性化が図られている

公正かつ効率的な売買取引に関する検証や業務規程による報告等の簡素化、情報化が十分でない

卸売業者及び仲卸業者の経営状況が厳しい

- ・都道府県においては、卸売会社の経営状況を把握しているが、財務状況の悪い業者に経営改善命令を発している所は少ない
- ・地方卸売市場では、市場間での卸売業者の経営状況や規模の差が大きく、一律の財務基準を定めることが困難であるため、多くの都道府県で財務基準を設定していない

環境問題や災害など、社会的要請への対応が十分でない

検討会における主な意見等

- ・経営戦略の策定、遂行に当たっては綿密な関係者間での協議により意思統一を図ることが必要
- ・市場の実情に応じて、市場関係者が一体となって取り組む戦略を構築することが必要

地域の実状に応じて、それぞれの強みを活かしつつ、双方向に有効な関係を持った連携体制を構築することが必要

- ・地方卸売市場の再編を通じて各地域内における卸売市場流通全体を活性化することは急務
- ・地方卸売市場卸売業者に対する適切な経営改善指導を図るとともに、小規模の地方卸売市場の統合・大型化を図ることが必要
- ・都道府県は、地方卸売市場卸売業者に対する財務基準の設定を進めるとともに、地域拠点市場を核とする市場の統廃合などの再編を進めることが必要

- ・コールドチェーンシステムの整備や、品質管理高度化規範の策定など品質管理を高度化することが必要
- ・加工・調整、保管・配送等機能の強化や産地との連携などによる特色ある商品の品揃えの充実など販売力を強化することが必要

- ・輸出については、市場が担う役割や、関係者の関与の仕方について検討、整理することが必要
- ・6次産業化については、市場が担う役割を明確にすることが必要

- ・情報利用者の評価が得られる取引情報を可能な限り公開することが必要
- ・情報通信技術を利用した取引を行うことが必要

合併や営業権の譲受等による統合・大型化、地域農産物を活用した新商品の開発が重要

- ・都道府県においては、卸売業者に係る財務基準、経営改善指導等の事例を共有するなどにより、経営改善指導内容の全体的底上げを図ることが必要

- ・廃棄物の再資源化、新エネルギーの利用など環境負荷の一層の軽減対策を実施することが必要
- ・災害時の緊急事態に対する対応機能を強化することが必要